



日本糖尿病協会公式
マスコットキャラクター
「マールくん」

公益社団法人 日本糖尿病協会
REPORT 2020
～みんなで乗り越えよう～

TOP MESSAGE



日頃より、日本糖尿病協会の活動にご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。
2020年度の当協会の事業記録をお届けいたします。

2020年は、新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、皆さまの生活にも大きな影響が生じたことと存じます。いまだ収束の兆しが見えない中、現在進行形で様々な環境でご苦勞されている方々に対し、改めてお見舞いと感謝を申し上げます。

コロナ禍は日本糖尿病協会にも様々な影響を及ぼしました。各地の友の会では、院内での活動が困難になり、閉会を余儀なくされたケースがありました。また、各都道府県糖尿病協会の市民向け啓発活動も制限されたほか、患者さん向けのウォークラリーや小児糖尿病キャンプも、開催史上初の全中止に追い込まれ、多くの交流の機会が奪われました。

そのように先行き不透明な1年でしたが、いくつかの収穫もありました。例えば、自粛生活を経験して、患者さんがこれまで以上に血糖コントロールの重要性を認識されたことや、仲間とつながることの大切さを再確認されたこと。そして、日糖協本部では若手役員や委員が、患者さんへのコロナ対策の情報発信や、オンライン糖尿病教育ツールの開発などに自発的に取り組んでくださったこと。さらに、協会の賛助会員企業の皆さまも、営業活動がままならない中、患者さんが必要とする療養グッズの医療現場への提供を継続してくださったことなど。コロナ禍で見えたこうしたことは、今後、日本糖尿病協会が新しい環境に適応していく上で、大きな糧になるものと考えます。

日本糖尿病協会は、糖尿病をもつ患者さんが病気を隠すことなく、いきいきと活躍できる社会の実現を目指して、時代に即した活動を展開して参ります。引き続き、当協会へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年5月
公益社団法人日本糖尿病協会 理事長

清野 裕

関西電力病院 総長
関西電力医学研究所 所長
京都大学 名誉教授
アジア糖尿病学会 理事長
日本病態栄養学会 理事長

活動の考え方 日本糖尿病協会の活動について

日本糖尿病協会のステークホルダーは、患者さんはもとより、患者さんを支援する医療者、自治体、企業、市民など多岐に渡ります。そうした方々に向けて、以下の4つの目標を持って活動しています。

普及啓発

糖尿病の療養や予防について正しい知識を広めます。

- 糖尿病の発症予防
- 重症化や合併症の予防
- 医療スタッフへの情報発信／資格の整備
- 糖尿病治療の質の確保 など

療養支援

患者さんやご家族など糖尿病と向き合う方々を支えます。

- 患者さん同士の交流の場
- 小児患者対象のキャンプ
- 療養に役立つグッズの制作・発行 など

調査研究

よりよい医療を提供するための基礎づくりを行います。

- 研究助成
- 糖尿病治療薬の市販後調査
- 患者さんや医療関係者へのアンケート調査 など

国際交流

日本だけにとどまらず、世界規模で糖尿病対策に取り組みます。

- 世界各国の学・協会との協調
- 国際糖尿病連合の一員としての活動
- アジア地域の若手研究者育成 など



日本糖尿病協会の情報発信と活動



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に関する情報発信

日糖協のホームページでは、「今、糖尿病とともに生きる人へ」と題して、COVID-19と糖尿病に関する正しい情報を発信しています。



防災に関する情報発信

糖尿病患者さんに防災意識を高めていただき、また災害を乗り越えるために、各冊子やシートを制作しホームページに掲載しています。



アドボカシー活動

糖尿病患者であることを理由に不利益を被ることのない社会、糖尿病があってもいきいきと暮らせる社会づくりを目指して活動しています。

データでみる2020年の日本糖尿病協会

◆ 会員

日本糖尿病協会には、糖尿病に関心のある方ならどなたでも入会することができます。患者さんやご家族、患者さんを支援する医療者や企業の皆さんが、日本糖尿病協会という輪の中で同じ立場で活動しています。



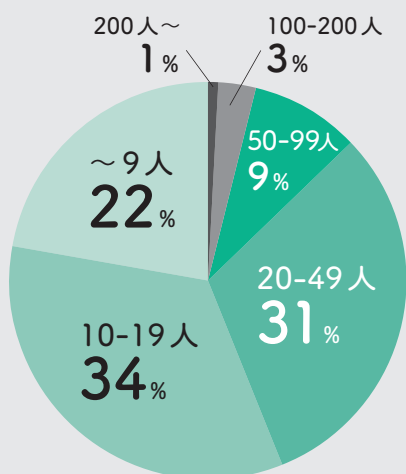
糖尿病診療を行う医療機関に設けてある「糖尿病友の会」に入会する会員です。協会誌「糖尿病ライフさかえ」の購読と、友の会での交流活動に参加できます。友の会は、全国の約1,600の医療機関に設置されています。



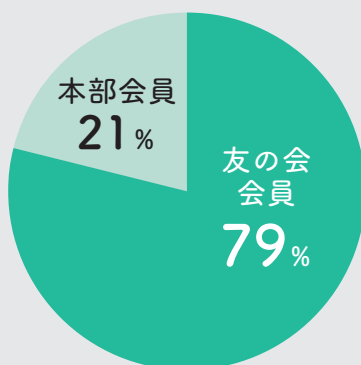
日本糖尿病協会本部に入会し、協会誌「糖尿病ライフさかえ」を購読して、糖尿病の知識を深めることを目的とする会員です。全国どこからでも入会が可能で、若い世代や医療者が多く参加しています。

上記以外にも、日本糖尿病協会の目的に賛同して、活動をご支援いただく企業・団体や個人を対象とする賛助会員制度もあります。

在籍人数からみた友の会の大きさ



会員の所属先



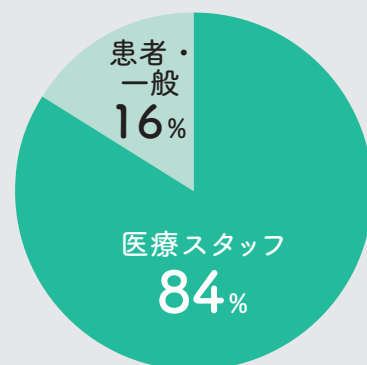
本部会員

・個人加入

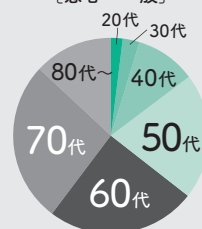
友の会会員

・医療機関に設置の分会(約1600)に加入
 ・会員の8割前後は患者と推定
 ・会員氏名は本部では把握せず

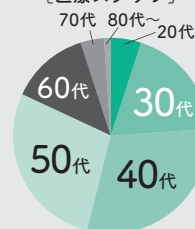
本部会員の属性



[患者・一般]



[医療スタッフ]



2020年度 賛助会員

アークレイ マーケティング(株)
 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
 (株)ファンデリー
 (株)浅田 裕
 (株)HプラスB ライフサイエンス
 大正製薬(株)
 MSD(株)
 興和(株)
 アストラゼネカ(株)
 PHC(株)

田辺三菱製薬(株)
 味の素(株)
 ティーベック(株)
 (株)竹内精美堂
 テルモ(株)
 小野薬品工業(株)
 ロシュ DC ジャパン(株)
 協和キリン(株)
 大日本住友製薬(株)
 第一三共(株)

日本ベクトン・ディッキンソン(株)
 アステラス製薬(株)
 ニプロ(株)
 サノフィ(株)
 武田薬品工業(株)
 (株)三和化学研究所
 松谷化学工業(株)
 サンスター(株)
 ノボ ノルディスク ファーマ(株)
 (株)ティ・プラス

LifeScan Japan (株)
 大塚食品(株)
 富士フイルム 富山化学(株)
 (有)ニック
 アボットジャパン(有)
 (株)コームラ
 東ソー(株)
 エクセルエイド少額短期保険(株)
 日医工(株)
 サイネオス・ヘルス・コマーシャル(株)

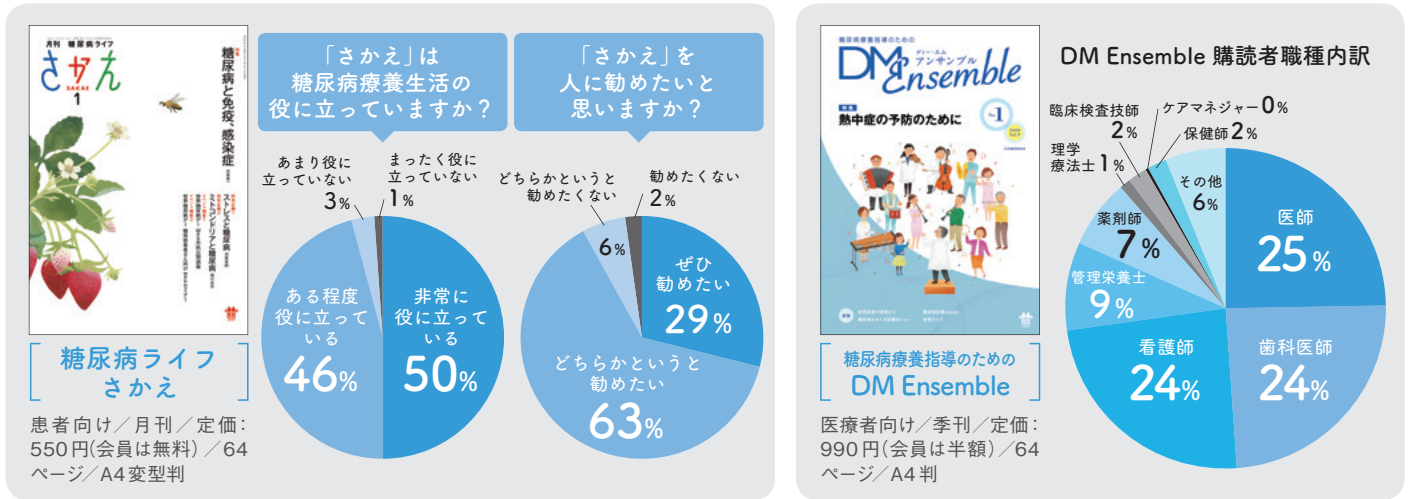
(順不同、敬称略) 2021年3月31日現在

◆啓発・教育・療養支援

日本糖尿病協会では、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、療養指導の質の向上、糖尿病患者さんやご家族、予備群の方々への療養支援に力を注いでいます。

発行雑誌

協会誌として「さかえ」や「DM Ensemble」を発行し、糖尿病治療の正しい知識を提供しています。



各種資格取得者数

日本糖尿病協会には糖尿病医療の知識習得に熱心な多数の医師、歯科医師、医療情報提供者が登録しています。

● 日本糖尿病協会登録医 …………… **1,517**人
(内2020年新規34名)
糖尿病診療に熱心な糖尿病を専門としない医師

● 日本糖尿病協会療養指導医 …………… **3,221**人
(内2020年新規81名、昇格77名)
糖尿病専門医、または登録医から昇格した医師

● 日本糖尿病協会登録歯科医 …………… **2,551**人
(内2020年新規94名)
日糖協の研修を修了し、糖尿病医療の知識をもつ歯科医師

● 糖尿病関連企業EXPERT社員 …… **1,679**人
日糖協の認定試験に合格した
糖尿病医療の知識をもつ医療情報提供者

療養グッズ

日本糖尿病協会では、糖尿病関連企業の協賛により下記の療養グッズを発行。医療施設などを通じて患者さんに無料で配布しています。(2020年度発行部数)



2020年度は、コロナ禍で中止せざるを得ない事業もありましたが、オンラインを活用し、4つの目標である普及啓発、調査研究、療養支援、国際交流事業を行いました。

1

糖尿病の予防及び治療に関する正しい知識の普及啓発事業

【市民、患者向け】

* 「糖尿病ライフさかえ」の発行

2021年3月に60周年記念編集の「特別号」を発行し、2021年度以降は、発行月と月号を一致させることとした。

* 糖尿病関連書籍の発行

「糖尿病食事療法のための食品交換表」、「糖尿病食事療法のための食品交換表活用編」、「糖尿病腎症の食品交換表」、「糖尿病治療の手びき」を発行した。

* 全国糖尿病週間の実施

11月9日から15日の一週間、全国糖尿病週間を日本糖尿病学会と共催した。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の影響で、集客型の事業を行わず、マスメディア等を活用した啓発広報が中心となった。

* 啓発イベントの実施

実地でのイベント開催を断念し、web講演会などオンラインを活用したイベントに移行した。

* 世界糖尿病デーの実施

- 日本糖尿病学会・本協会が構成する世界糖尿病デー実行委員会に協力し、世界糖尿病デーの認知向上に取り組んだ。
- 武田薬品工業株式会社との共催で、世界糖尿病デー特設webサイトを設置し、運動、食事、小児2型糖尿病に関する参加型の啓発を行った。
- ノボ ノルディスク ファーマ株式会社、大正製薬株式会社とweb 市民公開講座

を共催した。

* Team Diabetes Japan の運営

国内外のマラソン大会が中止となったため、run & walk の体験をweb に投稿する情報発信を行った。

* ウォークラリーの実施

COVID-19感染拡大の影響で、すべてのウォークラリーを中止した。

* KiDS プロジェクトの展開

COVID-19の影響で、KiDS プロジェクトの出張教室の実施はなかった。

* 就労と治療の両立支援

産業保健スタッフの糖尿病知識向上に向けたeラーニングコンテンツの充実をはかった。

* デジタルツールによる知識の普及

- COVID-19に関連する情報を集約したページをホームページ(HP)に掲載し、正しい情報を提供した。
- 協和キリン株式会社の協力を得て、腎機能チェックツールを開発し、HPに掲載した。
- コロナ禍の糖尿病教室で使用するデジタルコンテンツ「サイバー糖尿病教室」をHPに掲載した。
- 株式会社おいしい健康の協力を得て、糖尿病レシピの投稿が寄付につながるサイトを開設した。

* 糖尿病関連企業 EXPERT 社員認定制度

2021年2~3月に3回の認定試験を実施し、製薬企業13社・1800人が受験した。



【医療者向け】

* 「DM Ensemble」の発行

医療者を対象とする雑誌「糖尿病療養指導のためのDM Ensemble」を4回発行した。

* 登録医・療養指導医・登録歯科医制度の展開

登録医 1,517人、療養指導医 3,221人、登録歯科医 2,551人となった。

* 日糖協CDEネットワークの運営

7ブロックで「CDE ネットワーク運営連絡協議会」を発足させ、「コロナ禍での研修体制」「災害対策」「日糖協の療養支援資材の活用」などをテーマに、各地域で会議を実施した。

* 糖尿病カンパセーション・マップ™を活用した療養指導の普及

- コロナ禍でのファシリテーター育成策として、トレーニングのオンライン化を検討した。
- トレーニングで使用する動画を制作した。

* 糖尿病療養指導カードシステム®を活用した療養指導の普及

- 新たな普及策として、動画視聴による研修会を設定し、医療施設での導入を促進した。
- 糖尿病腎症重症化予防に対応する保健師向けのカードセットの開発を行った。電子版カードシステムの普及策を検討した。

* 日糖協eラーニングの運営

医療者向けコンテンツ51、糖尿病関連企業社員向けコンテンツ61(内、43コンテ

ンツからEXPERT 社員認定試験出題)を収載した。利用者数は、登録歯科医約1,800人、登録医・療養指導医約300人、CDEL 養成団体25団体・約1,900人、糖尿病関連企業18社約5,300人となった。

* 日本糖尿病療養指導学会の延期

第8回日本糖尿病療養指導学会(山田祐一郎会長 テーマ:参加型の糖尿病医療)は、COVID-19の影響で2021年に延期した。

* 動画資材による学習支援

各種動画をコンパクトに紹介するスライド資料を作成し、CDEL 養成団体での活用を促した。

* 高齢者糖尿病対策の推進

高齢糖尿病患者のインスリン治療実態調査結果の分析を行った。

2 糖尿病の予防及び治療に関する調査・研究事業

* 調査研究

- 経口糖尿病治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究(UNITE Study) 学術誌への投稿に向けて論文を準備した。
- インスリン製剤とシタグリプチン併用による有用性の検討-前向き観察研究-(I-UNITE Study) データ解析を行った。
- トホグリフロジンの安全性および有効性の検討-前向き観察研究-(AYUMI) 中間解析を実施し第63回日本糖尿病学会年次学術集会で発表した。また、対象症例のデータ回収を完了した。

* 研究助成

若手研究者助成を4件、メディカルスタッフ育成研究助成を3件採択した。新設した高齢者糖尿病の健康寿命延長のための臨床研究助成を3件採択した。

* 就労世代のインスリン治療実態調査

就労世代を対象とするインスリン治療の実態把握のための調査票の検討を行った。

* 「人を対象とする医学研究」の倫理審査

糖尿病療養指導のエビデンス作成に向けたメディカルスタッフの研究実施環境の整備として、糖尿病に関する研究の倫理審査を16件実施した。

3

糖尿病の患者及び家族に対する療養支援事業

* 糖尿病友の会の活動支援

全国の糖尿病友の会の活動を活性化するための施策を実施し、会員の療養生活や会員相互の交流を支援した。

* 糖尿病療養に役立つグッズ、冊子類の発行

- 療養グッズ発行部数：糖尿病連携手帳 2,259,600冊、自己管理ノート 1,144,000冊、糖尿病IDカード 17,000枚
- 冊子発行部数：「糖尿病食事療法のあいうえお」263,000部、「糖尿病腎症の食事療法かきくけこ」389,000部

* 小児1型糖尿病対策

- 小児糖尿病キャンプ
COVID-19感染拡大の影響で、すべてのキャンプを中止した。新しいキャンプの形として、オンライン上でキャンプを展開する「小児糖尿病バーチャル

キャンプサイト」を構築した。

キャンプ中止に伴う代替企画として、「小児糖尿病スケッチ&作文コンクール」を開催し、スケッチ21作品、作文7作品の応募があった。

* 小児2型糖尿病対策

- 武田薬品工業株式会社との共催サイト「世界糖尿病デー特設サイト」において、小児2型糖尿病啓発の動画やクイズを掲載した。

4

糖尿病に関する海外関係団体との連携事業

* IDF、IDF-WPR

COVID-19感染拡大の影響で、13th IDF-WPR Congress/12th AASD Scientific Meeting (中国 上海)が中止となった。

* AASD

- 運営助成金を支出するとともに、事務局業務を支援した。
- AASDが実施するアジア地域のフットケア・栄養プロジェクトの進行を支援した。

5

その他本協会の目的を達成するために必要な事業

* 会員増強

- 個人会員の更新時の脱落を防ぐ目的で会員期限を4月～翌年3月の年度単位に一元化した。
- HPからの入会において会費納入方法にクレジットカード決済を追加し、利便性を高めた。

* 都道府県糖尿病協会の運営支援



- 47都道府県糖尿病協会に対し、総額61,748,805円の地域活動費を支出した。
- 全国糖尿病週間の配布用に糖尿病啓発、療養支援に役立つ資材を提供した。

* サポーター、賛助会員制度

個人の賛助会員であるサポーターは約12,000人、企業の賛助会員は40社となった。

* 他団体との連携

- CDEJ および CDEL
「地域糖尿病療養指導士」(CDEL)養成団体の活動補助金として、40団体に26,500,000円を支出した。
- 日本歯科医師会
日本歯科医師会と連携して登録歯科医制度を推進し、医科歯科連携を促進した。
- 日本糖尿病対策推進会議
幹事会(2021年3月3日)に参加し、日糖協の糖尿病腎症重症化予防の施策として糖尿病療養指導カードシステムと食事療法シリーズ冊子を紹介した。
- 日本病態栄養学会
「糖尿病腎症の食事療法かきくけこ」の指導箋として、同学会の研究成果の提供を受けた。
- 日本薬剤師会
日本薬剤師会が実施する高度管理医療機器販売等に係る継続研修会で、糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会が作成した血糖自己測定器の保守点検啓発資材を配布し、情報提供を行った。

* 災害時危機管理対策

災害時に役立つ情報をコンパクトにまと

めた防災資材をHPに掲載し、無償で提供した。

* 広報事業

プレスリリース:配信5本、ホームページ:新着情報掲載23本、Facebook:記事投稿約330本

「さかえ」:活動報告8本、新聞広告:読売新聞全国版11月14日朝刊15段(世界糖尿病デー×インスリン発見100年)

* 糖尿病医薬品・医療機器等適正化

医薬品、医療機器企業と連携して、血糖自己測定器の保守点検促進資材や、在宅医療廃棄物の適正処理を啓発する資材を作成し、医療機関に配布するとともに、関係団体での講習会での周知を行った。また、注射製剤の適正な空打ちの必要性について情報を整理し広報を行った。

* 企業制作資材の検証

各企業が患者向けに制作する情報提供資材の事前検証を行った。

* アドボカシー事業

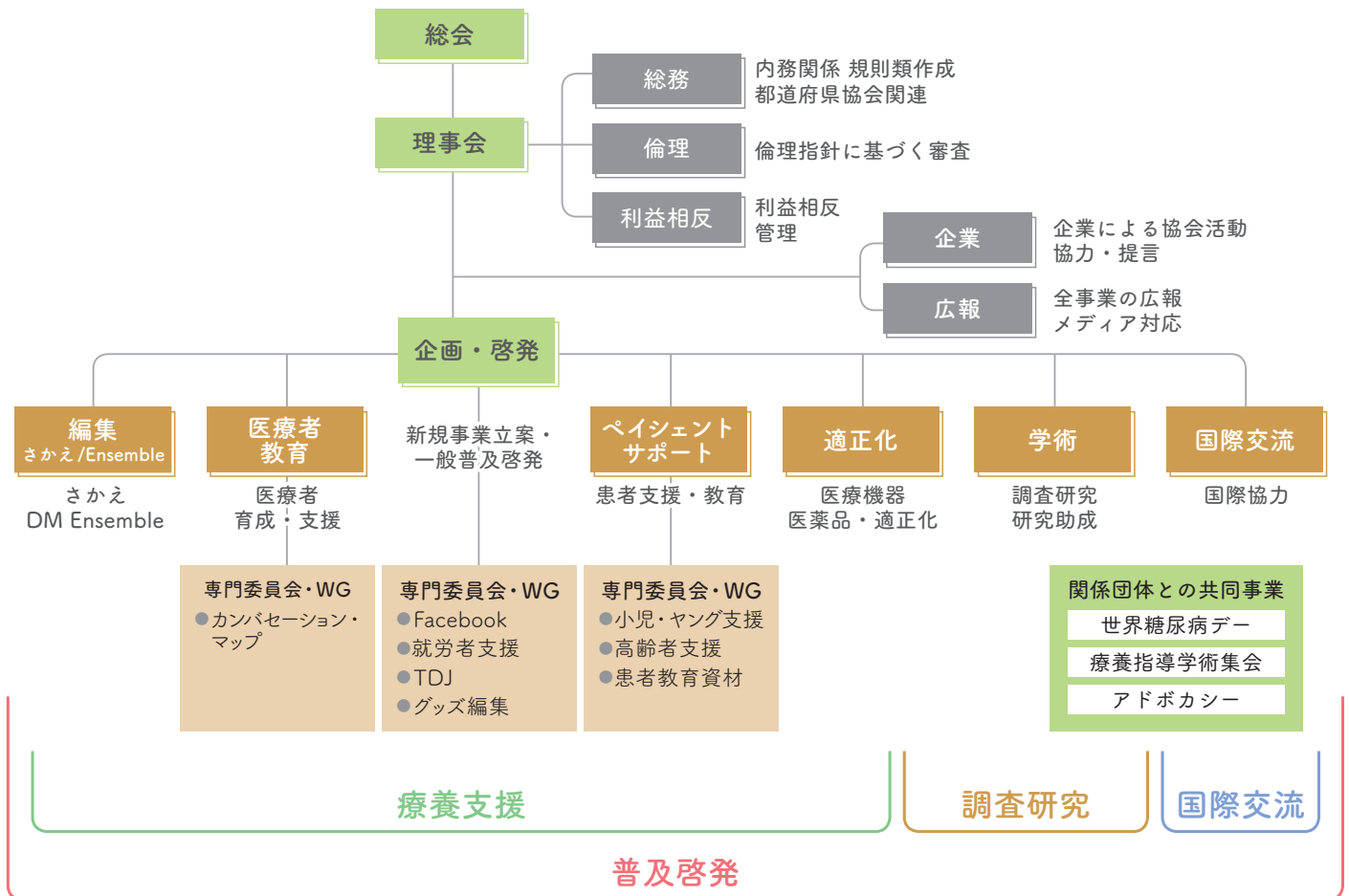
- アドボカシー広告デザイン(2019年制作)を、世界糖尿病デー公式ポスター、「さかえ」、「DM Ensemble」の広告ページに採用した。
- 各委員会で、糖尿病の名称に関する意見交換を行った。

日本糖尿病協会と連携する諸団体

日本糖尿病協会は、47の都道府県糖尿病協会と連携して全国で啓発活動を展開しています。また日本糖尿病学会や日本医師会、日本歯科医師会など日本国内の主要な糖尿病関連団体と密接な関わりを持つほか、海外の諸団体とも交流・連携を行い、糖尿病の克服をめざしています。



◆ 日本糖尿病協会組織図



◆ 2020年度 役員名簿

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
理事長	清野 裕	理事	八幡 和明	理事	内潟 安子	理事	津村 和大
業務執行理事	安西 慶三	理事	中村 二郎	理事	寺内 康夫	理事	堀田 饒
業務執行理事	稲垣 美智子	理事	矢部 大介	理事	太田 謙司	理事	松原 謙二
業務執行理事	戸所 文生	理事	稲垣 暢也	理事	上原 茂	理事	矢島 鉄也
業務執行理事	中園 徳斗士	理事	権野 博	理事	遅野井 健	理事	渡邊 倫久
業務執行理事	山田 祐一郎	理事	南條 輝志男	理事	門脇 孝	監事	岩本 安彦
理事	種田 紳二	理事	佐藤 利昭	理事	岸 栄治	監事	長田 信也
理事	赤井 裕輝	理事	中村 慶子	理事	熊谷 勝子		
理事	渥美 義仁	理事	小林 邦久	理事	坂本 辰蔵		
理事	三村 正裕	理事	平田 龍二	理事	幣 憲一郎		

◆ 2020年度 決算書

正味財産増減計算書 2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	25,409
受取会費	141,780,119
事業収益	614,100,089
調査研究収益	424,655,045
受取寄付金	15,144,538
雑収益	11,291,604
経常収益計	1,206,996,804
(2) 経常費用	
管理費	31,212,379
事業費	1,060,441,523
経常費用計	1,091,653,902
評価損益等調整前当期経常増減額	115,342,902
当期経常増減額	115,342,902

(単位:円)

科 目	当年度
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	115,342,902
一般正味財産期首残高	457,982,254
一般正味財産期末残高	573,325,156
II 指定正味財産増減の部	
受取助成金	10,420,000
受取寄付金	32,185,130
調査研究収益	323,425,817
一般正味財産への振替額	△271,563,167
当期指定正味財産増減額	94,467,780
指定正味財産期首残高	303,342,823
指定正味財産期末残高	397,810,603
III 正味財産期末残高	971,135,759

日本全国に広がるネットワーク [都道府県糖尿病協会一覧]

◆北海道

北海道糖尿病協会
☎ 011-231-4032
医療法人 萬田記念病院

◆東北

青森県糖尿病協会
☎ 0172-39-5062
弘前大学大学院医学系研究科
内分泌代謝内科学講座

秋田県糖尿病協会
☎ 018-884-6769
秋田大学大学院医学系研究科
内分泌・代謝・老年内科学

岩手県糖尿病協会
☎ 019-662-1622 / 070-6593-9966
西松園内科医院

山形県糖尿病協会
☎ 023-682-1111
済生会山形済生病院

宮城県糖尿病協会
☎ 022-717-7611
東北大学
加齢医学研究所プロジェクト棟5F
糖尿病代謝科内

福島県糖尿病協会
☎ 024-925-1188
太田西ノ内病院 庶務課

◆関東甲信越

茨城県糖尿病協会
☎ 029-353-2800
医療法人 健清会
那珂記念クリニック内

群馬県糖尿病協会
☎ 027-220-7111 (内 8121)
群馬大学医学部附属病院
内分泌糖尿病内科

栃木県糖尿病協会
☎ 0282-87-2150
獨協医科大学病院
内分泌代謝内科

東京都糖尿病協会
☎ 03-6892-2962
東京都糖尿病協会 事務局

千葉県糖尿病協会
☎ 043-245-8808
千葉県糖尿病協会 事務局

埼玉県糖尿病協会
☎ 048-681-0526
自治医科大学 BSL棟内

神奈川県糖尿病協会
☎ 080-8815-1234
川崎市立川崎病院
糖尿病内科

山梨県糖尿病協会
☎ 055-273-9602
山梨大学医学部 第三内科

長野県糖尿病協会
☎ 0263-39-7060 / 090-9012-1325

長野県糖尿病協会事務局

新潟県糖尿病協会
☎ 025-368-9026
新潟大学医学部総合病院
血液・内分泌・代謝内科医局内

◆中部

静岡県糖尿病協会
☎ 054-247-6134
静岡県立総合病院 栄養管理室

愛知県糖尿病協会
☎ 0561-63-1682
愛知医科大学医学部内科学講座
糖尿病内科

三重県糖尿病協会
☎ 059-331-2000
JCHO四日市羽津医療センター

岐阜県糖尿病協会
☎ 058-230-6378
岐阜大学医学部附属病院
糖尿病代謝内科内

富山県糖尿病協会
☎ 076-433-8843
富山赤十字病院 医療社会事業部

石川県糖尿病協会
☎ 0761-21-0965
石川県糖尿病協会 事務局

福井県糖尿病協会
☎ 0776-24-2410
医療法人 初生会福井中央クリニック 内科

◆近畿

滋賀県糖尿病協会
☎ 0749-22-6050
彦根市立病院
栄養科・栄養治療室内

京都府糖尿病協会
☎ 070-5267-1929
京都府立医科大学附属病院
内分泌・免疫内科医局

大阪府糖尿病協会
☎ 06-6879-3743
大阪大学大学院医学系研究科
内分泌代謝内科学講座

和歌山県糖尿病協会
☎ 073-445-9436
和歌山県立医科大学附属病院
第1内科医局内

奈良県糖尿病協会
☎ 0744-22-3051
奈良県立医科大学
糖尿病・内分泌内科学

兵庫県糖尿病協会
☎ 078-382-5868
神戸大学大学院
医学研究科内科学講座
糖尿病・内分泌内科学部門

◆中国・四国

岡山県糖尿病協会
☎ 086-235-7235

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
腎・免疫・内分泌代謝内科学教室

広島県糖尿病協会
☎ 082-257-1784
広島大学大学院医学系科学研究科
糖尿病・生活習慣病予防医学

鳥取県糖尿病協会
☎ 0859-24-1151
住吉内科眼科クリニック内

島根県糖尿病協会
☎ 0852-24-2111
松江赤十字病院
生活指導室

山口県糖尿病協会
☎ 0836-22-2251
山口大学医学部 第三内科

香川県糖尿病協会
☎ 0875-52-3800
よねいクリニック

徳島県糖尿病協会
☎ 088-633-7587
徳島大学先端酵素学研究所
糖尿病臨床・研究開発センター

高知県糖尿病協会
☎ 088-880-2343
高知大学医学部
内分泌代謝・腎臓内科学 (第二内科)

愛媛県糖尿病協会
☎ 080-5667-2786
愛媛大学大学院医学系研究科
糖尿病内科

◆九州

福岡県糖尿病協会
☎ 092-631-0656
九州大学医学部
病態機能内科学 (第2内科)

大分県糖尿病協会
☎ 097-586-5089
大分大学医学部 看護学科

佐賀県糖尿病協会
☎ 0952-34-2551
佐賀大学医学部
看護学科

長崎県糖尿病協会
☎ 095-819-7261
長崎大学病院 第一内科

熊本県糖尿病協会
☎ 096-365-5414
熊本県糖尿病協会 事務局

宮崎県糖尿病協会
☎ 0985-22-8015
平和台病院1階

鹿児島県糖尿病協会
☎ 099-275-6436
鹿児島大学病院 糖尿病・内分泌内科

沖縄県糖尿病協会
☎ 098-886-6955
医療法人 陽心会内

公益社団法人 日本糖尿病協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 麹町セントラルビル 8F

TEL:03-3514-1721 FAX:03-3514-1725

<https://www.nittokyo.or.jp/>

<https://www.facebook.com/nittokyo/>